

出来形部分払いに係る出来形部分等の算出要領 (建築工事)

鳥取市都市整備部建築住宅課

平成 23 年 4 月 1 日

出来形部分払いに係る出来形部分等の算出については、「建築工事出来形検定の標準」を標準として運用していますので、これにより資料を作成し、監督員に提出して下さい。

また、毎月の履行報告書の出来形算出もこの要領に準じて算出して下さい。

建築工事出来形検定の標準

(目的)

第1 この標準は、鳥取市都市整備部建築住宅課及び教育委員会教育総務課の所掌する建築工事の出来形検定における部分払いの対象とする出来形の範囲及び出来形検定の方法を定め、出来形検定の適正を図ることを目的とする。

(部分払いの対象となる出来形の範囲)

第2 出来形検定における部分払いの対象となる出来形の範囲は、次のとおりとする。

- 一 出来形部分は、当該工事における施工済部分で、監督員の検査に合格した部分をいう。
- 二 工事現場に搬入された工事材料は、当該工事における施工済部分に相当する工事材料、設計図書において部分払いの対象として指定された工事材料及び別表「出来形確認の標準」で定める工事材料をいう。
- 三 製造工場等にある工場製品は、当該工事で設計図書において製造工場等にある工場製品として、部分払いの対象として指定された工場製品をいう。

(定義)

第3 この標準において用いる用語は、次の各号に定めるところによる。

- 一 科目構成比率は、予定価格内訳書(以下、内訳書という。)の共通費を除く直接工事費(以下、工事費という。)の全てに対応する各工事科目の構成の百分率をいう。
- 二 科目金額とは、内訳書の各工事科目の細目の合計金額をいう。
- 三 完成出来形とは、各細目毎の内訳書の数量をいう。
- 四 既済出来形とは、各細目毎の当該出来形部分検定時点の、部分払い対象出来形の数量をいう。
- 五 細目出来高とは、既済出来形に単価を乗じて得た金額をいう。
- 六 科目出来高とは、各工事科目の細目出来高の合計金額をいう。
- 七 出来率は、当該工事の部分払い対象の出来形に対応する工事費の科目出来率の合計をいい、百分率で表す。
- 八 科目出来率は、各科目毎の既済出来形の百分率をいい、次式により算出する。
$$\text{科目出来率} = \text{科目出来高} \div \text{科目金額}$$

(数値の取扱い)

第4 出来形検定書及び部分払い出来形数量算出書に用いる数値の取扱いは、次のとおりとする。

- 一 科目構成比率は、小数点以下第2位を切り捨て1位止めとする。小数第1位に満たない工事科目は部分払いの対象とせずその他の科目に一括して計上する。
- 二 完成出来形の有効桁は次による。
原則として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位とする。ただし、下記の

事項は独自に扱う。

- ・100以上の数量：小数点以下第1位を四捨五入し整数とする。
- ・10未満の鋼材、木材の数量：小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位とする。
- ・電線、電線管：整数とする（桁数に関係なく）。
- ・配管：整数とする（桁数に関係なく）。

三 既済出来形は、前号による

四 出来率は、小数点以下第1位を切り捨て整数とする。

五 科目出来率は、小数点以下第2位を切り捨て1位止めとする。

（出来形検定の方法）

第5 工事主管課長は、部分払いの対象となる出来形検定に当たっては、請負者が作成した出来形部分等確認資料を用いて行う。

2 監督員は、部分払いの請求を受けたときは、内訳書の数量を請負者に提示し、当該請求に係る出来形部分等確認資料を作成させる。

3 監督員は、請負者が部分払いを請求する範囲について出来形を確認し、別表「出来形確認の標準」を用いて部分払いの対象となる既済出来形の算出を指示する。

4 監督員は、算出された既済出来形により内訳書を用いて、科目出来高及び科目出来率の算出を行い、出来形検定書を作成する。

5 前四項により、算出された科目出来率の合計を、出来率とする。

6 前各項の規定に係わらず、工事内容、地域的要件等でこの標準により難しい場合又はこの標準に記載のない事項は、実状に応じ確認する。

（出来形確認資料の作成の方法）

第6 監督員が、請負者に指示する出来形部分等確認資料作成の方法は、別に定める。

（出来形確認の標準）

第7 別表「出来形確認の標準」は、次のとおり

別表1 建築工事

別表2 電気設備工事

別表3 機械設備工事

附則

- 1 この標準は、平成23年4月1日より適用する。

出来形部分等確認資料作成の方法(手引き)

(目的)

第1 この出来形部分等確認資料作成の方法(手引き)(以下、「手引き」という。)は、工事請負契約書第37条の規定による部分払いを請求する場合の当該請求に係る確認資料の作成と出来形部分等の算出方法の標準的な方法を定め、出来形部分等の算出の適正を図ることを目的とする。

(総則)

第2 請負者は、部分払いを請求する場合に、この手引きにより出来形部分等確認資料を作成し、監督員の指示を受けて当該請求に係る出来形を算出する。

工事内容、地域的要件等でこの手引きによりがたい場合は、監督員と協議する。

(部分払いの対象となる出来形の範囲)

第3 部分払いの対象となる出来形の範囲は、次のとおりとする。

- 一 出来形部分は、当該工事における施工済部分で監督員の検査に合格した部分をいう。
- 二 工事現場に搬入された工事材料は、当該工事における施工済部分に相当する工事材料、設計図書において部分払いの対象として指定された工事材料及び別表「出来形確認の標準」で定める工事材料をいう。
- 三 製造工場等にある工場製品は、当該工事で設計図書に製造工場等にある工場製品として部分払いの対象に指定された工場製品をいう。
- 四 原則として、当該工事に係る共通費の出来率は、直接工事の出来率と同率とする。

(定義)

第4 この手引きにおいて用いる用語は、次の各号に定めるところによる。

- 一 完成出来形は、各細目毎の監督員の示す数量をいう。
- 二 既済出来形は、各細目毎の当該出来形部分検定時点の、部分払い対象出来形の数量をいう。

(数値の取扱い)

第5 部分払い出来形数量算出書に用いる数値の取扱いは、次のとおりとする。

- 一 完成出来形の有効桁は次による。

原則として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位とする。ただし、下記の事項は独自に扱う。

 - ・100以上の数量：小数点以下第1位を四捨五入し整数とする
 - ・10未満の鋼材、木材の数量：小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位とする
 - ・電線、電線管：整数とする(桁数に関係なく)
 - ・配管：整数とする(桁数に関係なく)
- 二 既済出来形の有効桁は前号による。

(出来形部分等確認資料)

第6 請負者は、部分払いを請求する場合は、契約図書のと定めるところにより監督員の指示を受け、当該請求に係る出来形部分等確認資料を作成し、監督員の確認を受けなければならない。

2 出来形部分等確認資料として、下記のものを監督員に提出する。

一 実施工程表

実施工程表は、工事科目を記入し科目毎の工程内容が記載されたものとし、期間毎の進捗状況が確認できるものとする。

二 出来形数量算出書

三 出来形状況図

3 部分払いの対象となる出来形の確認に当たっては、下記のものを除外する。

一 設計変更が考慮されている部分で変更契約が完了していない部分

二 監督員に検定の請求を省略した部分

三 出来形検定時までに標準仕様書1・6・1に示された要件を満たさない部分

(部分払いの対象となる出来形の算出方法)

第7 部分払いの対象となる出来形の算出方法は、監督員の指示により、監督員の示す数量を用いて算出する。

(履行報告時における準用)

第8 工事請負契約書第11条の規定による履行報告をする場合においては、この手引きに準じ出来形を算出し、履行報告書を作成する。

附則

1 この手引きは、平成23年4月1日より適用する。

出来形確認の標準

別表1 建築工事（新営）

工事科目	細目		出来形確認の標準	備考	
	名称	摘要			
1 土工事	切り土		施工完了 100%	実体積による	
	根切り				
	埋戻し	A. B. C. D種			
	建設発生土運搬費		処分の確認ができる発生土量に対して確認する		
	建設発生土処分費				
	土留め	シートパイル・親杭横矢板工法	架け開始月を含め、 （設置期間／計画期間）×70% 撤去整理の終了後 100%	架け開始月を含め、 （設置期間／計画期間）×70% 撤去整理の終了後 100%	埋殺しの場合は90%とする
		構台・支保工			
	地中連続壁工事		設置が完了後報告書を提出後 70% 地下躯体工事の終了後 100%	埋殺しの場合は90%とする	
土工事機械運搬費		根切りが完了後 50% 埋戻し・盛土が完了後 100%			
2 地業工事	均しコンクリート		施工完了 100%		
	床下防湿層				
	既製杭打ち地業				
	既製杭	PHC・RC杭鋼杭	現場搬入検査合格 100%		
	施工費		打設完了 90% 杭頭処理完了後、報告書提出 100%		
	場所打ち杭地業				
	鉄筋		打設完了 100%		
	レディーミクストコンクリート				
	施工費			打設完了 90% 杭頭処理完了後、報告書提出 100%	
	機械運搬費		施工着手後 50% 施工完了後、場外搬出 100%		
3 鉄筋工事	鉄筋		施工完了 100%		
	加工組立				
	圧接		施工完了 90% 第三者検査完了 100%		
	超音波探傷試験		報告書提出 100%		
	スリーブ補強		設置完了 100%		
	溶接金網	構造用	施工完了 100%		
4 コンクリート工事	レディーミクストコンクリート	構造体用	打設完了 100%		
	打設手間				
	機械損料				
	無筋コンクリート	材工共	施工完了 100%		
	コンクリート直均し仕上げ				

5 型枠工事	型枠 PC 型枠		組立完了 0% コンクリート打設完了 90% 解体・構外搬出 100%	
	デッキスラブ型枠		コンクリート打設完了 100%	
	コンクリート目地		補修完了 100%	
	打放し面補修			
6 鉄骨工事	鋼材		現場搬入検査合格 100%	
	ボルト類			
	工場加工組立			
	溶融亜鉛メッキ			
	鉄骨運搬			
	鉄骨現場建方		組立完了 90%	
	高力ボルト締付		機械器具撤去 100%	
	現場加工・組立て		加工完了 30% 組立完了 100%	
	超音波探傷試験		報告書提出 100%	
耐火被覆		施工完了 100%		
7 既成コンクリート工事	コンクリートブロック		施工完了 100%	
	モルタル煉瓦積			
	ALC パネル			
	PC コンクリートパネル			
	セメント押出成形パネル			
8 防水工事	アスファルト防水		施工完了 100%	
	合成高分子ルーフィング防水			
	塗膜防水			
	伸縮調整目地		施工完了 100%	
	防水押え金物			
	防水立上り面取り	既製材料		
シーリング		施工完了 100%		
9 石工事	天然石張り仕上げ		施工完了 100%	目地を含む
	テラゾーブロック張り			
	テラゾーブロック張り			
10 タイル工事	タイル張り	内外とも	施工完了 100%	目地を含む
	打込みタイル			
11 木工事	各種木材		施工完了 100%	
	合板		施工完了 100%	
	大工手間		施工完了 90% 養生完了 100%	
	構造金物等		大工手間の出来率による	
12 屋根及びとい工事	ルーフトレン		施工完了 100%	
	フロアドレン			
	とい		施工完了 100%	
	屋根葺き	瓦・スレート・金属	施工完了 100%	
13 金属工事	天井下地、壁下地		施工完了 100%	
	手すり、階段ノンスリップ			
	金属成形板張り			

14 左官工事	床モルタル塗り		施工完了 100%	
	床下地モルタル	各種仕上げ下地		
	階段床下地モルタル			
	幅木モルタル			
	内壁モルタル			
	外壁モルタル			
	床均しモルタル	防水下地		
	立上り均しモルタル			
	床防水モルタル			
	壁防水モルタル			
	排水溝防水モルタル			
	建具周囲モルタル充てん			
	仕上げ塗材塗り			
15 木製建具工事	木製建具		施工完了 95%	
	調整完了 100%		調整完了 100%	
	附属金物		施工完了 100%	
16 金属製建具工事	取付け調整費		施工完了 70%	
	調整完了 100%		調整完了 100%	
	金属製建具		施工完了 95%	
17 ガラス工事	調整完了 100%		調整完了 100%	養生材撤去後
	附属金物		施工完了 100%	
	取付け調整費		施工完了 70%	
18 カーテンウォール工事	調整完了 100%		調整完了 100%	
	板ガラス		シーリング完了 90%	
19 塗装工事	シーリング		清掃完了 100%	
	調整完了 100%		施工完了 100%	
20 内装工事	メタルカーテンウォール		施工完了 100%	
	PCカーテンウォール		施工完了 70%	
	取付け調整費		調整完了 100%	
21 仕上げユニット	床用塗料塗		施工完了 100%	
	幅木塗装			
	壁塗装			
	天井塗装			
22 排水工事	内装仕上げ材		施工完了 100%	
	内装下地材			
	家具等	設備接続あり		
23 舗装工事	調整完了 100%		調整完了 100%	
	家具等	設備接続なし	施工完了 100%	
	トイレブース		施工完了 100%	
	カーテン等			
24 その他	排水管	各種	配管完了 100%	
	排水ます	フタ共	施工完了 100%	
	労務費		施工完了 90%	
25 その他	試験完了 100%		試験完了 100%	
	アスファルト舗装		施工完了 100%	
	コンクリート舗装			
	インターロッキング舗装			
	街きよ・縁石・側溝	グレーチング共		
砂利敷き				

25 植栽工事	樹木	高木・低木	施工完了 100%	
	芝・吹き付けは種類			

- ※ 1 施工完了とは、工事の施工完了後、監督員の検査に合格した部分をいう。
 2 試験完了とは、工事の施工完了後試験を行い、監督員に報告書を提出した部分をいう。
 3 各項のうち、固定を要しないものは対象としない。
 4 直接仮設費、共通仮設費（積上げ分を除く）、現場管理費及び一般管理費に相当する出来形は、直接工事費の出来形に相当するものとし、原則として個別には計上しない。
 5 共通仮設費（積上げ分）において、新営、改修、解体の区別がある場合は、それらの区別ごとの直接工事費の出来形に相当するものとする。
 6 耐震改修、外壁改修、解体等は、次による。

工事科目	細 目		出来形確認の標準	備 考
	名 称	摘 要		
1 仮設工事	外部足場	シート等を含む	設置完了 40% 撤去完了 100%	
	内部足場	解体用、改修用それぞれ	設置完了 50% 撤去完了 100%	
	仮設鉄板敷		設置完了 50% 撤去完了 100%	
26 解体工事	解体工事費		集積完了 100%	
	発生材積み込み費		運搬完了 100%	
	発生材運搬費		運搬完了 100%	B2 票で確認
	発生材処分費		最終処分完了 100%	E 票で確認

- 7 これら以外の改修部分及び取り壊しは、実状に応じて確認する。

別表2 電気設備工事

工事科目	細目		出来形確認の標準	備考
	名称	摘要		
全工事科目 共通	配管類	一般	配管完了 100%	屋外を含む
	配管類	自家発電用	配管完了 100%	
	電線・ケーブル類		配線完了 90% 試験完了 100%	屋外を含む
	ボックス類		施工完了 100%	
	プルボックス		施工完了 100%	
	配線器具類		施工完了 90% 試験完了 100%	
	金属ダクト		施工完了 100%	
	ケーブルラック			
	フロアダクト			
	バスダクト		施工完了 90% 試験完了 100%	
	接地	突針・棟上げ導体・接地極	施工完了 90% 試験完了 100%	
	機器類・盤類	特注品	施工完了 100%	屋外を含む
	設置費		施工完了 90% 試験完了 100%	
	試験調整費		施工完了 100%	
	マンホール・ハンドホール	鉄ふたを含む	施工完了 100%	現場施工・ブロック共
	運搬費		施工完了 100%	

- ※1 施工完了とは、工事の施工完了後、監督員の検査に合格した部分をいう。
- 2 試験完了とは、工事の施工完了後試験を行い、監督員に報告書を提出した部分をいう。
- 3 各項のうち、固定を要しないものは対象としない。
- 4 共通仮設費（積上げ分を除く）、現場管理費及び一般管理費に相当する出来形は、直接工事費の出来形に相当するものとし、原則として個別には計上しない。
- 5 共通仮設費（積上げ分）において、新営、改修、解体の区別がある場合は、それらの区別ごとの直接工事費の出来形に相当するものとする。
- 6 本表にないものは、建築工事・機械設備工事「出来形確認の標準」によるほか、実状に応じ算出する。
- 7 設計図書において材料を出来形とする場合は、積算上材料と労務を分離したものをを用いる。

別表3 機械設備工事

工事科目	細目		出来形確認の標準	備考
	名称	摘要		
全工事科目 共通	器具・機器・盤類		施工完了 100%	屋外を含む ボイラー類を除く
	ボイラー類		施工完了 100%	
	設置費		施工完了 90% 試験完了 100%	
	運搬費		施工完了 100%	
	架台、耐震支持金物	鋼製	施工完了 100%	
	煙道		施工完了 100%	
	配管類		施工完了 90% 試験完了 100%	
	弁類		施工完了 100%	伸縮継ぎ手等含む
	風道			排気フード含む
	ダンパー類		施工完了 100%	
	吹出口、吸込口			
	保温工事		施工完了 100%	
	柵類		施工完了 100%	
	し尿浄化槽	ユニット形	施工完了 90% 試験完了 100%	
	昇降機等		設置後、検査完了 100%	1台ごと

- ※1 施工完了とは、工事の施工完了後、監督員の検査に合格した部分をいう。
 ※2 試験完了とは、工事の施工完了後試験を行い、監督員に報告書を提出した部分をいう。
 ※3 各項のうち、固定を要しないものは対象としない。
 ※4 共通仮設費（積上げ分を除く）、現場管理費及び一般管理費に相当する出来形は、直接工事費の出来形に相当するものとし、原則として個別には計上しない。
 ※5 共通仮設費（積上げ分）において、新営、改修、解体の区別がある場合は、それらの区別ごとの直接工事費の出来形に相当するものとする。
 ※6 本表にないものは、建築工事・電気設備工事「出来形確認の標準」によるほか、実状に応じ算出する。
 ※7 設計図書において材料を出来形とする場合は、積算上材料と労務を分離したものをを用いる。